

宇工高に配管材料寄贈

高校生の技能向上を支援

宇管工

<12/16 日刊建設>



和田理事長（右）から菅野校長に材料を手渡した

宇都宮市管工事業協同組合（和田均理事長）は13日、県立宇都宮工業高校（菅野光広校長）に教材用の配管材料（63万円相当）を寄贈した。同校への寄贈は今回が10回目。贈られた材料は、環境設備科の生徒が受験する技能検定実技試験や、技能五輪の練習に使われる。

寄贈したのは、銅管や銅管、塩ビ管、継手などの材料。当日は和田理事長、川中子武保専務理事らが同校を訪れ、菅野校長に資材を手渡した。同席した技能検定を受験す

る3年生5人は、資材の寄贈に感謝の言葉を述べて、合格できるよう頑張りたいと語った。

今回の寄贈にあたり、和田理事長は「生徒たちが何回も練習するには、費用が大変かかることから、資機材を寄贈している。資機材も値上げ傾向にあるが、引き続き、利益の一部を学校や生徒に還元し、管工事業界への就職度を上げていただければ幸い」と、将来を担う技術者の育成に期待を込めた。

また、菅野校長は「毎年資材をご提供いただき、感謝申し上げます。生徒たちは、頂いた貴重な材料をもとに、自分たちの高みを目指して日々励んでいる」と話し、一人でも多くの技能検定合格を願った。